

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	＊	＊	＊
	○	商店街（常務理事）	来客数の動き	・物価高騰が続くなか、消費者の財布のひもは固いものの、インバウンドは増加し、新型コロナウイルス感染のリスクも大幅に軽減され、商店街の人通りは明らかに増える傾向にある。新規の出店も増えていることから、購買意欲の向上に期待したい。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・単価の低い商品を探して購入する様子だが、販売量は増えている。
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・今月の前半は、店頭売上も外商売上も非常に悪かったが、後半に一気に追いつけて、店頭、外商共に前年と比べて若干のプラスとなった。
	○	スーパー（人事）	販売量の動き	・株価、賃上げなどの動向からムードとしては前向きに見える。販売側の努力も大いにあるが、販売点数も前年を上回っており、良い流れになっていると判断する。
	○	家電量販店（店員）	来客数の動き	・新生活準備で底上げしているように見えるが、それ以外の来客数も増えており、偏りなく商品の販売数が伸びてきている。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・各商品が値上がり傾向にあり、いろいろな方面の商品が少しずつ売れてきている。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・春はいろいろと祝い事が多いため、例年通り客足が伸びている。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・インバウンド需要が地方空港の直行便増加などにより本格的に増加している。
	○	競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・賃金が物価高に合わせて徐々に上がっていくという世間の声や情勢、報道等の影響により販売量が増えている。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・出掛ける人が増え美容室への来店回数が増加している。
	○	設計事務所（所長）	単価の動き	・建設業関係だけでなく、観光や飲食、サービス業などいろいろな分野で価格転嫁が進んできたとみられる。
	□	商店街（代表者）	それ以外	・ようやく34年ぶりに株価が史上最高値を超えたが、これから4万円を維持し更に高値を目指すことになれば、地方都市にも可処分所得増の恩恵がめぐってくる。ただし、世界情勢は資本主義経済そのものが危機を迎えており、我が国の政治状況とともに極めて安定感のない状態が続くため波乱が発生しても不思議でないと思う。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・外国人観光客が増えてきており、インバウンドの恩恵がみられる業種も出てきているが、燃料費は高止まり状態にある。また、商品価格は引き続き高騰傾向にあり難しい経営状況が続いている。さらには、春の兆しが遅い傾向にあったため、顧客の動きが鈍くみられる。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・業務用も家庭用も販売数量が減少したままである。必要最小限の購入になっている。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・商品の値上げが続いたため商品単価の伸びが大きくなり、来客数や買上数量の動きは鈍い。
	□	スーパー（統括担当）	単価の動き	・単価が上がる傾向は続いており、その分利用点数が減少している。節約の傾向がみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・2月は例年厳しく、3月は20日を過ぎると動き出す傾向にあるが、今年は20日が過ぎてもその兆候がみられず、前年比微減となった。
	□	家電量販店（副店長）	来客数の動き	・来客数は前年比7%減少しているが、客単価でカバーができてきている。また、シングル需要の獲得もできており、全体では計画どおりに推移している。
□	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・人気車は長納期でのオーダーストップになっており販売量が芳しくない。	

	□	その他小売 [ショッピング センター] (総 務部担当部長)	来客数の動き	・観光支援の終了があったものの、想定していた人流へのマイナスの影響も発生せず、堅調に推移している。
	□	タクシー運転手	来客数の動き	・今年は四国遍路の逆打ちの年であり、今月に入り仕事が入ってきており忙しくなっている。四国遍路に応じるため、街のタクシーは減ってはいるが、活気はあるようで忙しくしている。
	▲	商店街 (代表 者)	販売量の動き	・来客数自体はかなり戻ってきているようだが、客の財布のひもがかなり固いため、厳しい販売状況が続いている。
	▲	一般小売店 [文 具店] (経営 者)	来客数の動き	・取引先の動向については、現在変化はみられない。しかし、運送の2024年問題を考えるに当たり、メーカーからの受注価格に変化が現れている。また、仕入れ運賃の値上がりの通知が来ているが、それを客への価格転嫁に反映するのは難しいと考えられる。
	▲	スーパー (店 長)	それ以外	・発注システムの問題により商品供給が正常に行えない状況となっており、販売機会の喪失が発生している。
	▲	スーパー (店 長)	お客様の様子	・週末のチラシや催事による集客効果が薄れている。
	▲	スーパー (財務 担当)	来客数の動き	・来客数の前年比超えが数か月続いたが、その後再び前年を割り込んだ。買上点数についても前年割れが続いている。
	▲	コンビニ (店 長)	来客数の動き	・来客数が減少し、客単価が低下している。価格が上昇しているにもかかわらず、客単価の下落は客の買い控えに起因すると考えている。
	▲	コンビニ (店 長)	来客数の動き	・来客数はやや減少傾向となってきた。商品価格の上昇により、売上は前年並みを確保できたが、衝動買いやまとめ買い等が起こりにくく、購買意欲に影響を与えているようにみられる。
	▲	衣料品専門店 (営業責任者)	販売量の動き	・気温が低く推移し、天候も週末にかけて悪くなる傾向があったため、春物衣料の動きが悪く、売上は前年比大幅に減少した。
	▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・諸物価の上昇もあり受注台数が前年比1割程度減少している。今月の販売台数は生産停止が継続中の車両もあり、前年比60%程度で推移している。
	▲	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊部門は堅調であるが、飲食部門の先行予約の動きは悪い。
	×	コンビニ (総 務)	来客数の動き	・気温や天候に左右されるが、来客数が2月から大きく前年割れし3月に入っても同様の動きで回復の兆しはない。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・物価も上がり洋服まで買いそろえようとは思わないのではないか。アパレルメーカーの安い衣料品で賄う人が多いのではないか。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・12月から比べると3月は悪くなっている。タクシー、ハイヤーの稼働率は平日の市内が40%前後、週末は50%前後になっている。また、個人タクシーは55%の人が離職又は廃業をしている。
企業 動向 関連 (四国)	◎	食料品製造業 (商品統括)	受注価格や販売 価格の動き	・販売価格上昇とそれを許容する動きがセットとなっている。
	◎	繊維工業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・例年、3月から夏にかけて出荷がピークになるが、今年はコロナ禍明けでインバウンド需要も重なり、受注が旺盛である。ただ、新型コロナウイルス感染症発生前と比較して受注先が変化しており、観光地にある小売店や店頭をリニューアルした店舗等は活況のようだが、従来型の雑貨店や大型の小売店はやや低調のようである。
	◎	通信業 (企画・ 売上管理)	受注量や販売量 の動き	・年度末の駆け込み需要が目立った。
	○	化学工業 (所 長)	競争相手の様子	・取引先との面談から、同業者の受注状況は好調であり、新規活動まで手が回らず残業が続いていると聞いた。

	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・危機感や責任感からSDGsや脱炭素に対する客の意識の変化が現れており、徐々に事業化に結び付いている。
	○	通信業（総務担当）	それ以外	・ボランティア活動や地域のイベントといった社外イベントへの参加者数が前年度より増加しており、関係者の人の流れもやや増えている。
	□	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物の卸売価格は、気象状況により左右されることが多い。3月上旬は入荷量、卸売価格とも平年並みとなり、中下旬は平年を下回る低調な荷動きで、単価は前年を上回って推移したが、全体として予断を許さない販売環境が続いている。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・大規模工事が実施、計画されており、我が国の需要は堅調に推移。一方、海外の需要は欧州とアフリカを除く全ての地域で大幅に増加。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ようやく土木公共事業を1件受注できたがまだ少ない。
	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この状況に慣れたようにみられる。
	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・現状、景気は変わらない状況が続いているとみられるが、今後については不透明である。
	□	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新しい駅ビルオープンに伴う広告が多少あったが、全体としては余り変わらない。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が更に減少している。販売価格の上昇で、売上が大幅に減少し始めた。
	▲	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・依然として、大手自動車メーカーの設備投資の動きが鈍く、当社受注量も低調気味。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・物価高騰などの補助金がなくなってきており利益が確保できていない。
	×	—	—	—
雇用 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（役員）	周辺企業の様子	・新年度となり、新たな体制として組織力が強化されていく企業も増加していく。前年度序盤までの新型コロナウイルス感染対策の影響もなく、人流が戻り、消費や施設の利用率も向上していくことで景気も上向していく傾向にある。
	○	職業安定所（求人開発）	採用者数の動き	・就職件数が前月比、前年同月比共に増加した。就職率についても同様に増加した。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・一定数派遣の求人数はあるが、求職者とミスマッチも多く就労にはつながっていかない。現状維持とみられる。
	□	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・県内各社で大卒の新卒採用活動がスタートしているが、2024年3月卒の新卒採用で予定人数を充足できていない企業が大半のなか、2025年3月卒の採用も出だしが鈍く、各業種とも既に苦戦している企業が多い。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・地方、特に民間に良い要素が見当たらない。
	×	—	—	—